

しまねの土地改良だより

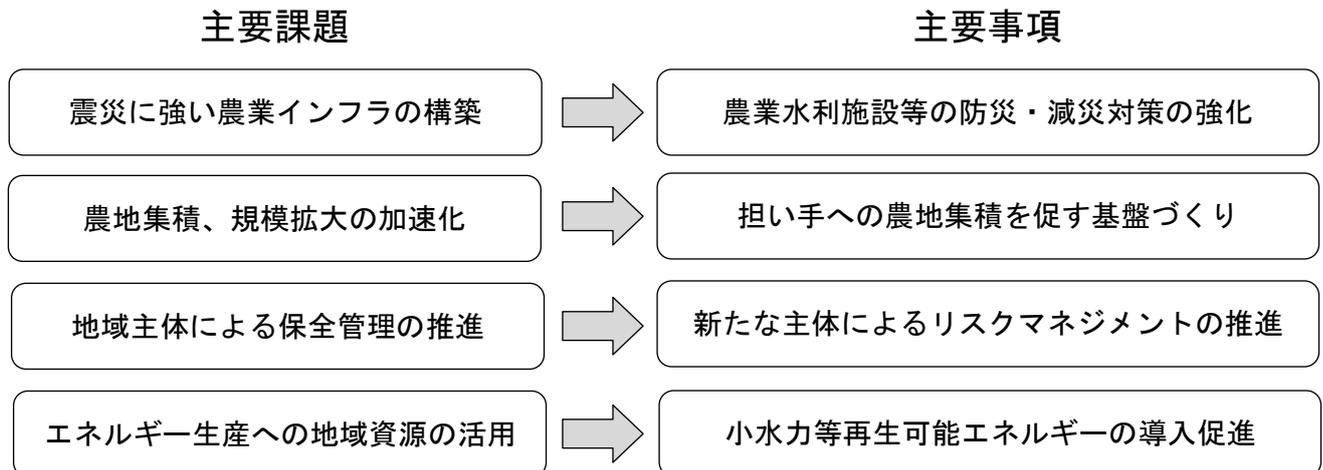
平成23年10月1日発行

 水土里ネット島根

■ 平成24年度 農業農村整備対策予算概算要求額

平成24年度農林水産予算概算要求額は、農林振興局予算総額で3,708億円（対前年度比102.5%）となり、農業農村整備事業においては、2,222億円（対前年度比104.4%）を計上。また非公共予算では、農地・水保全管理支払交付金が、平成24年度から28年度までの対策として継続することとし、計上されました。

農業農村整備対策について、「農地」と「水」を最大限に活用した農業生産力の強化と、安心・安全な農村づくりの実現を目指すことになっています。



なお、詳細については、下記ホームページに掲載されています。

農水省全体

<http://www.maff.go.jp/j/press/kanbo/yosan/110930.html>

農村振興局

<http://www.maff.go.jp/j/nousin/soumu/yosan/index.html>

内閣府

http://www.cao.go.jp/yosan/soshiki/h24/gaiyou_h24.pdf

・平成24年度 農業農村整備対策予算概算要求額	1
・緊急雇用対策を支援	2
・雲南農業農村整備推進協議会研修会	2
・下水道2011しまねに出展	3
・台風12号による農地、農業用施設被害について	4
・島根県農業土木技術研究会・農業農村活性化推進部会より要望	4
・水源林保全活動	4
・今月の主な予定	4

■ 緊急雇用対策を支援

本会では昨年度に引き続き、「緊急雇用創出臨時特例基金事業」を活用した島根県の緊急雇用対策を受託して、離職者等に雇用機会を創出する事業を支援しており、13名の新規雇用を予定しています。

委託内容

- 1 農業水利施設等既存情報データ整備業務
 - ①農業水利施設点検情報整備（揚排水機場・樋門・頭首工） 339ヶ所
 - ②農道構造物点検結果整備 255ヶ所
 - ③ため池施設情報整備 5,004ヶ所
 - ④農業水利施設情報整備（頭首工） 2,145ヶ所
 - ⑤農地・水・環境保全向上対策情報整備 493ヶ所
 - ⑥地すべり指定地情報整備 150ヶ所
- 2 農業水利施設等調査業務
 - ①農業水利施設現地調査（揚排水機場・樋門・頭首工） 10ヶ所
 - ②ため池施設現地調査 320ヶ所
 - ③ため池施設アンケート調査 5004ヶ所

これらの情報は、全てしまね水土里情報システムへ情報整備し、適切な点検・診断に基づく施設の計画的な補修・更新等による予防療法的な手法（ストックマネジメント）を円滑に推進することを目的としています。

■ 雲南農業農村整備推進協議会研修会

雲南管内の市町及び土地改良区で組織する雲南農業農村整備推進協議会主催による研修会が、9月30日飯南町の「志都の里クラインガルテン」で会員、東部農林振興センター、雲南県土整備事務所及び本会から約40名が参加し開催されました。

開会にあたり、本協議会の山碓英樹会長（飯南町長）の挨拶があり、その後研修会に移りました。

研修会の第1部は市町担当者会議で、東部農林振興センター調査計画スタッフ及び雲南県土整備事務所農林工務部の担当者から、管内における農業農村整備に係る取組みや事業説明、情報提供等があり、本会からは、「うしおの沢池周辺整備」と「農業水利施設等情報整備」について情報提供を行いました。

第2部は、「滞在型市民農園志都の里クラインガルテンの取組」題して志津見振興組合の空岡健氏の講演会があり、志津見ダム建設事業によって大きく変貌した地区の歴史や現状、また、都市交流による地域の維持活性化をめざし開設したクラインガルテンの概要や現状について紹介がありました。

また、研修会終了後には、情報交換会が開催され、地域が抱える諸問題等について活発な情報交換が行われるとともに参加者の懇親が深められ有意義な研修会となりました。

■ 下水道 2011 しまねに出展

9月18日くにびきメッセ大展示場において、下水道に対する意識の高揚と普及啓発を図るため、松江市・まつえ環境市民会議が主催する「松江市環境フェスティバル」への出展により下水道展 2011 しまねが開催され本会も出展しました。

農業集落排水模型の展示や、松江市東出雲町の農業集落排水施設の汚泥で作られた農業集落排水汚泥肥料「おすぎとチップ」2kg入り200袋を配布・PRし、その肥料を与えて作ったキュウリを販売しました。

今年もそのキュウリが大変好評であり、早くに完売となりました。

当日は、連休中ということもあって多数の来場者がありましたが、集落排水模型前にも、水槽内のメダカ、ドジョウ、ザリガニ等の生き物に子供達の関心が集まり、大変なにぎわいとなりました。



■ 山王寺「田んぼの学校」で稲刈り

9月25日、澄みきった秋空の下、雲南市大東町山王寺地内で山王寺本郷棚田実行委員会主催の「田んぼの学校」稲刈りコースが行われました。

参加者は、地区内外の家族連れ、夫婦連れ、棚田オーナー及び地元実行委員会を含め約80名に及び、今年は島大生のボランティアグループの協力もありました。

最初に、地元の方から稲の刈り方、束ね方の指導を受けた後、古代米（黒米）、コシヒカリの稲刈りです。稲を束ねる際には、ワラで編んだ「ヨリ」の扱いが難しく四苦八苦している方も見受けられました。



稲刈りの後はハデ掛け作業を参加者全員でおこない、高い所でのハデ掛けに大人も子供もハデに登って楽しんで作業をし、貴重な体験となりました。

10月23日（日）には、稲の脱穀、粃すり、さつまいも掘りを行う収穫祭コースが行われますが、同日9時30分からは「棚田祭り」が開催され、神楽の上演、地元産のお米・野菜販売や写真展示などたくさんの催物がありますので、ご家族お誘いのうえ参加されるようご案内します。

■ 台風12号による農地、農業用施設被害について

9月1日から3日にかけて発生しました台風12号による被害は、県東部に多く発生し、農地109箇所、被害額128,000千円、農業用施設（ため池、頭首工、水路、農道）は107箇所、被害額201,000千円でした。

本会では、このうち安来市から災害査定設計書作成業務を受託しています。

■ 島根県農業土木技術研究会・農業農村活性化推進部会より要望

9月13日島根県の土地改良関係OB職員で組織する島根県農業土木研究会・農業農村活性化推進部会（部会員25名）より、部会員の積極的活用についての要望がありました。

長年土地改良行政に携わってこられ、経験豊かな部会員の皆様には、農村災害ボランティアを始め、農業・農村活性化のため、各方面でご協力を得ています。

■ 水源林保全活動

11月6日「うしおの沢池」外来種（ブラックバス）駆除のための干し上げイベントに併せ、同日午前9時より沢池周辺の水源林へ、山桜、かえでの植栽を行ないます。

■ 今月の主な予定

- 10月 3日 「うしおの沢池農業用水・水源林保全活動」（雲南市大東町）
- 10月 6日 中国四国土地改良事業団体連合会事務責任者会議（岡山市）
- 10月13日 全国土地改良事業団体連合会事務責任者研修会（東京都）
- 10月18日 農林水産省との意見交換会（東京都 島根県農業農村整備推進協議会主催）
- 10月20日 第34回全国土地改良大会 in みやぎ「3.11 東日本大震災復興支援水土里の集い」
- 10月23日 山王寺棚田祭り・田んぼの学校収穫祭コース（雲南市大東町）
- 10月25日 同和対策推進担当者啓発研修会（隠岐会場）



みどり
「水」「土」「里」
の未来を創造し働きます

「水」・・・農業用水や地域用水
「土」・・・土地や農地
「里」・・・農村空間、農家や地域住民が一体となった生活空間

水土里ネット島根（島根県土地改良事業団体連合会）

〒690-0876 島根県松江市黒田町 432-1 島根県土地改良会館 TEL 0852-32-4141
ホームページ <http://www.shimanedoren.or.jp/> メール smndoren@shimanedoren.or.jp